

2/23

毎月25日はまちニコデイ(*^_^*)
嘉数小・志真志小であいさつ運動実施



「まちでニコリ、あいさつ・声かけ運動」の一環で、2月23日に嘉数小学校と志真志小学校の校門前にて、あいさつ運動を行いました。児童、市長、教育長、社協役員、まちニコ推進委員、企業、民生委員、まちニコ大使（西向幸三さん）、大勢の参加があり、校門前は明るいあいさつと笑顔で溢れました。

3/2

カケハシ・プロジェクト(TOFUプログラム)激励式
米国でグローバルな視点を深める



外務省が実施する「対日理解促進交流プログラム」の一環であるカケハシ・プロジェクト『アメリカで沖縄の未来を考える』(TOFU)プログラムへ、本市から山川雄大さん、新里賀子さん、上原咲奈さんの3人が選考されたことを受け、市長・教育長による激励式が行われました。新里さんは「交流することにより広い視野を持ちたい」と意気込みを語りました。詳しくは外務省ホームページをご覧ください。

2/24

世界のことばに触れる
子どもたちへ外国語絵本の読み聞かせ



市民図書館展示ホールにて、JICA 沖縄国際センター主催の「図書館で旅する七大陸」おはなし会スタンプラリーが開催されました。宜野湾市が最終日となった24日(土)には、読み聞かせボランティアと市国際交流員のテリエン・マドレーヌさんが外国語(フランス、アメリカ、オランダ、韓国)絵本の読み聞かせを行いました。手遊びやネイティブな外国語に、参加した子どもたちは興味津々でした。

3/3

第31代決まる
はごろもレディ選出大会



市中央公民館において「第31代はごろもレディ選出大会」が開催され、新しいはごろもレディに、新良帆乃香さん、与那嶺真奈さん、玉城ゆりのさんの3人が選出されました。新しいはごろもレディはこれから2年間、宜野湾市の観光・公式行事に親善使節として活躍し、県内外へ宜野湾市をPRしていきます。

2/26

おきぎんJカップ大会準優勝
大山SC 県代表として九州へ



2月に開催された「第40回おきぎんJカップ大会」で準優勝し、3月10、11日に熊本県で開催される「第40回フジパンカップ九州ジュニアサッカー大会」へ派遣される大山SCの皆さんが訪れ、優勝できるよう頑張りたいとキャプテンの幸喜祐心さんが大会へ向けて意気込みを語りました。翌週に大会結果の報告があり、サガン鳥栖(佐賀1位)との準決勝で敗れ3位だったことを報告していました。

2/20

登録団体は36団体、52ヵ所になりました
見守りおかえりサポーター認定式



認知症高齢者等が道迷いにより行方不明になった場合に、早期発見・保護が行われる支援体制を目的として、ご協力いただける事業所や団体等にサポーター登録の認定式を行いました。今回認定されたのは、株式会社ダイコー沖縄、生活協同組合コープおきなわ、株式会社 T-NAK デイサービスセンターかふ〜の3団体です。3団体へは認定証と見守りおかえりステッカーが交付されました。

2/8

普天間三区・新城区自治会
フラワーポット贈呈式



宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会は、ちゅうらうちなー安全なまちづくり推進会議が推進中の「子ども・女性等安全安心見守り事業」として、普天間三区、新城区をモデル地区とし、フラワーポットを贈呈しました。通学路に設置し、地域住民が登下校時の水かけ街頭活動やあいさつ運動を推進して、地域の絆と監視力を強化し、犯罪の起きにくい地域社会の実現に取り組みます。

2/22

総合学習の授業として
出前公演開催事業 特別講話を開催



嘉数小学校にて世界的レゲエダンサーのI-VANさん(本市出身)を招き、同校6年生を対象に「夢を持ち、そこに向かうことの大切さ。そして、両親や周りの人への感謝について」をテーマに講話を行いました。児童たちは真剣に耳を傾け、自分自身の将来について考えているようでした。最後は「ヤーマン体操」を踊って大いに盛り上がり、子どもたちの笑顔がはじけていました。

2/19

第三次宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画の答申
ひとり親家庭の生活の安定、向上に向けて

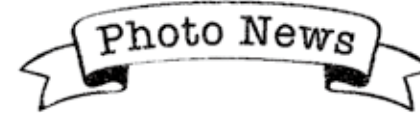


学識経験者や各団体等の代表者、一般公募者で構成する専門委員会が審議を重ね策定された「第三次宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画(案)」が、ひとり親家庭自立促進計画専門委員会委員長の神里博武さんと副委員長の山内優子さんから手交されました。本計画案を基に、ひとり親家庭の生活の安定と向上を図り、就業・自立等に向けた取り組みを進めていきます。

宜野湾市のいろいろな話題



こみゆにてい 見聞録



－ 市の動きやまちの出来事をお届けします！ －